

ベガルタ仙台・ボランティア・ネットワーク（略称：VVN）活動報告

月日：10月12日

活動内容：イズミ・ストリート・フェスティバル

参加人数：VVN及びボランティア15名

活動報告

イベントには運不運がある。春と秋いつのころからか年2回開かれるようになった「イズミ・ストリート・フェスティバル」は、どちらかといえば運のいいイベントといえよう。それはこれまで継続して実施できている、ということだけでなく天候に恵まれる、という基本的なことも含んでいる。しかし今年10月12日は、小雨の中でのスタート準備となった。けれど、ブルーシートを広げスペースを確保するため、あわただしく動いていると雲がきれ、日差しが差し込んできた。つまりこれがこのイベントの「運」なのであった。

近くの区役所前の広場では、既に秋の祭りの定番となった「みちのくYOSAKOIまつり」がスタート、一方ペデストリアンデッキの下では、この日にあわせて作成をすすめてきた「VEGALTY WINGALLERY」の除幕式が、さまざまな参加者を集めて開催された。郊外の大型ショッピング施設の登場によって空洞化が心配されるまち、こうした文化的なイベントや施設が日常のものとなるのがここに集う全ての人々にとって多分大事なことなのだと思う。当然VEGALTYはそのキーのひとつ。

VVNの今年の参加内容は「スタジアムでのゴミ減量活動の紹介」（チラシ配布）とサミットを通じて集めた全国のスタジアムの「芝でカードを作り」VVNの認知を高めることであった。結果はほぼ予定通りの数を配布（300枚）、芝のカードを大切にしまいこむ子供たちの姿がうれしい。協力してくれた各地の人々に感謝したい。午後からはやわらかい空気につつまれて過ぎていった。今回もまた、イベントへの参加を通じて多くの人との出会いがあった。

